

歳出全体の約26%が民生費

本市の平成17年度決算は、9月に開かれた第3回市議会定例会で認定されましたが、一般会計で約6億8502万円、特別会計は約1億6128万円、両会計を合わせた赤字額は8億4630万円となりました。

歳出の目的別用途では、社会福祉費や児童福祉費・生活保護費などの民生費が26・2%と最も多い割合を占め、以下、公債費・衛生費と続いています。

一般会計決算は、歳出総額169億3669万円に対し、歳入総額が162億5167万円となり、6億8502万円の赤字決算となりました。

前年度比約7億1000万円の増となったのに対し、普通建設費が約8億5000万円減、人件費が1億9000万円の減額となりました。

国民健康保険は3億超の黒字

特別会計は、姥懐霊園墓地・西十和田ユース・ホテル・観光施設事業・温泉供給の4事業会計で合計約6億5000万円

ほか、市債が前年度と同じ割合で約22億円。市税等の自主財源は、22・9%と全体の4分の1にも満たない状況が続く。地方交付税などの依存財源に頼っている現状になっています。

の赤字決算となりましたが、国民健康保険は約3億5000万円の黒字を計上。また、企業会計では、黒石病院が5億1743万円の赤字決算。水道事業が1億254万円の黒字決算。下水道事業が4億3564万円の赤字決算となりました。

17年度の一般・特別会計総決算は、前年度比で歳入1・0%、歳出1・3%の減となりましたが、差し引き8億円余りの赤字決算となりました。

各会計別決算

区分	歳入	歳出	差引額
一般会計	162億5,167	169億3,669	△6億8,502
特別会計	103億2,965	104億9,093	△1億6,128
国民健康保険	42億9,635	39億4,693	3億4,942
老人保健	34億3,053	34億2,791	262
姥懐霊園墓地	1,386	1億247	△8,861
介護保険	23億4,859	22億9,637	5,222
西十和田ユース・ホテル	77	8,903	△8,826
観光施設事業	9,600	3億7,127	△2億7,527
簡易水道	7,968	1,731	6,237
温泉供給事業	1,524	2億1,377	△1億9,853
農業集積事業	2,244	2,220	24
土地取得	0	0	0
中川財産区	7	0	7
上十川 "	1,100	43	1,057
追子野木 "	199	74	125
温湯 "	1,060	0	1,060
袋 "	3	0	3
境松 "	170	170	0
黒石 "	80	80	0
合計	265億8,132	274億2,762	△8億4,630

黒石病院事業会計決算

収 益		費 用	
医業収益	45億7,897	医業費用	47億4,855
入院	25億6,513	給与	22億3,225
外来	19億2,941	材料	16億3,540
その他	8,443	経費	6億5,559
医業外収益	6,037	減価償却	2億925
計	46億3,934	その他	1,606
		医業外費用	3億9,433
		特別損失	1,389
		計	51億5,677

当年度純損失 5億1,743

水道事業会計決算

収 益		費 用	
営業収益	7億6,970	営業費用	5億8,897
うち水道使用料	7億5,669	うち受水費	2億8,751
営業外収益	7,443	うち減価償却費	1億4,119
計	8億4,413	営業外費用	1億4,895
		うち支払利息	1億4,865
		特別損失	367
		計	7億4,159

当年度純利益 1億254

下水道事業会計決算

収 益		費 用	
営業収益	2億6,561	営業費用	3億9,243
うち下水道使用料	2億6,451	うち流域下水道維持管理負担金	1億1,603
営業外収益	3	うち減価償却費	2億871
特別利益	9,216	営業外費用	3億4,657
計	3億5,780	うち支払利息	3億4,657
		特別損失	5,446
		計	7億9,346

当年度純損失 4億3,564